

ひびき通信

平成 27 年
6 月版

予防支援について意見を交換

グループホーム響で
運営推進会議を開催

グループホーム響の運営推進会議がこのほど、当センターにて開催されました。同会議は、地域住民や家族の方々とケアの情報を共有し連携を図ることを目的に隔月で開かれています。

この日の会議には、町内会長をはじめ家族の方など十名が参加。管理者から最近の状況報告があったあと、来年度から市区町村が担当することになる介護予防支援のあり方などについて、意見を交換しました。

ボディ
メカニクス
セミナー
Part 3

楽々、安全に出来た

ベッド上での介助法に「目からうろこ」

ボディメカニクス介護講座がこのほど、当センターで開催されました。「ベッド上での移乗」をテーマに開催されたセミナーには、介護職など二十八名が参加しました。

在宅サポートセンター生田で
連続介護講座を開催

ベッド上での上手な起き上がり方を指導する宿谷講師

ボディメカニクスとは、人間の運動機能である骨、関節、筋肉などの力学的な相互関係を活かした、最小の労力と無理のない自然な姿勢で介助を可能にする理論と技術のこと。前回に引き続き、介護職養成校のコアハートカレッジから宿谷聡さんが講師を担当しました。

セミナーでは、ベッドで仰臥している

満開の
薔薇

実際に肩甲骨や仙骨部にかかっている圧のほし方や、端座位になってもう際に、腸骨を押すことで大きな力を使うことなく楽に起き上がることができる介助法などを学びました。

参加した職員たちは、いままでの介助とは違い、少ない負担でできる介助法に「なるほど」など驚きの声をあげながら、繰り返し何度も練習をしていました。

色とりどりの花と香りに
「きれいなねえ」とため息

風がおる季節になった五月。デイサービス響では、向ヶ丘遊園にある「生田緑地バラ苑」に歩行リハビリを兼ねてお出かけをしました。

約一ヘクタールの苑内は、皇室にちなんだバラを集めた「ロイヤルコーナー」や、バラのトンネルが見事な「パーゴラ通り」など、約五百三十三種四千七百株のバラが咲き誇ります。

今年は、五月に入り暖かい日が続いたため、赤や黄色やピンクに白など、色とりどりの花がいっせいに満開に。ご利用者たちは、花の香を楽しみながら苑内を一周。「きれいだね」と目を細めていました。

生田緑地バラ苑に
歩行リハでお出かけ

パーティが始まる頃には晴れ間が

広がる絶好のバーベキュー日和に。平田センター長の音頭で乾杯した後、焼きたての牛肉や豚肉を

はじめ、焼きそば、カレーなど盛りだくさんのメニューを楽しみながら、懇親を深めました。

焼きたてお肉で懇親の輪

グループホーム響の恒例イベント

ご家族、地域の方など五十四名が参加

在宅サポートセンター生田で

は、このほど、グループホームに入居されているご家族や、運営推進会議の方々を招いてバーベ

キューパーティを開催しました。

パーティには、スタッフも合わせて総勢五十四名が参加。この日は、あいにくの雨の予報でしたが、

